

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 92

九州豪雨をもたらしたのは 「線状降水帯」って・・・



7月5日から6日にかけて福岡と大分に特別警報が発令されるほどの大雨が降りました。特別警報というのは「およそ50年に一度の降水量となると予想されたとき」というのが指標になっているのですが、このところ毎年のように50年に一度レベルの大雨が降っています。今回の大雨特別警報で驚かされたのは

特別警報発令	福岡	7月5日	17時51分
	大分	7月5日	19時55分
特別警報解除	福岡・大分	7月6日	14時10分

ということで、福岡では20時間以上、大分でも18時間以上大雨特別警報が継続していたことにあります。大雨特別警報が出されても解除されるまでがこれほど長いのも珍しいことなのです。それだけ今回の豪雨の凄さが伝わってきます。福岡県朝倉市では7月5日の降水量が516mmで、1日だけで平年の7月の降水量の1.5倍を記録したと報道されていました。さらに7日12時までの60時間で606mmの降水量を記録したとあります。

今回の九州豪雨の原因とは

今回の九州豪雨の原因となっているのが「線状降水帯（せんじょうこうすいたい）」だと繰り返し報道されていました。今までの大雨災害のときも使われていたのかもしれませんが、あまり聞きなれていない言葉のような気がしたので、ちょっと調べてみるとちゃんと気象庁の予報用語に記載されていました。テレビの気象解説で使用しているのですから、当然のことなのですがあまり耳にすることもないので、やはり最近の言葉のように感じてしまいます。予報用語に記載されているのは



線状降水帯（気象庁 予報用語）

「次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域。」

となっています。さらに線状降水帯にも分類があるようで今回はバックビルディング型と解説されていました。通常ひとつの積乱雲で1時間前後で50mmほどの雨を降らして雨雲はなく

なるのですが その間にまた同じ場所に積乱雲が形成されてしまうという形態のものという説明になっていました。バックビルディング現象という言葉の方が以前より使われていたような気がします。2013年 10月 16日に伊豆大島の元町（もとまち）で 6時間で 549.5mmの降水量を記録したときにはバックビルディング現象という表現が使われていました。2014年 8月の広島土砂災害をもたらした大雨や 2015年 9月の鬼怒川堤防・渋井川堤防決壊の引き起こしで大洪水による大きな被害が出た 関東・東北豪雨もバックビルディング現象による大雨と解説されていた記憶があります。

災害の名前と表現

北九州では 2012年にも「平成 24年 7月九州北部豪雨」と命名された大雨の被害がありました。災害で大きな被害があった事例にはあとから災害に命名をするのですが これは後の時代に比較検証できるように行われていることなのです。2012年の 7月 11日から 14日にかけて九州北部を中心に発生した豪雨で熊本 福岡 大分に大きな被害をもたらしました。大雨の原因となる積乱雲は発生しやすい条件が揃うところでは大雨にみまわれる可能性が高いということになります。昔から積乱雲の俗称である入道雲にも地域ごとに名前が付けられていて関東では坂東太郎（ばんどうたろう） 関西では但馬太郎（たじまたろう）や丹波太郎（たんばたろう）とって入道雲が出たら雷と大雨がくるものと教え伝えられてきました。九州でも英彦太郎（ひこたろう）筑紫次郎（ちくしじろう）と北九州地域は積乱雲が発生しやすい地域であることが判ります。

その後の気象研究が進んでバックビルディングだけでなく破線形や破面型などの分類がされるようになって総じて「線状降水帯」という表現になったようです。気象衛星のおかげで気象現象の研究も急速に進んでいるので ニュースなどでは耳なじみのない言葉がときどき出てきます。50年に一度の災害が毎年いたる所で発生していることを考えれば 気象現象の解明は災害対策には欠かせないことですので 研究成果に期待をしたいと思います。

被災された地域や人々ができるだけ早くもとの生活に戻れることを願うしかありませんがまだ雨の時期は続きますし台風も本格的なシーズンに入ります。間違いなく世界的にも自然災害 とくに大雨 洪水 干ばつ 寒波 猛暑 などの異常気象が多くなっています。地球

温暖化が原因と考えられていますが 温暖化が急に停まることもありませんので災害が起きることを想定して対応を常日頃から考えておく必要があるということです。災害はどこで起きても不思議なことではないのです。

原稿担当：竹中 直（チヨク）

